

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

【大学全体】

- ・ 教員の更なる意識改革・能力向上を図るべく、教員の自己点検評価を実施している。教育関係論文の実績等を「教育に関する評価」の指標の一つとし、各教員に対して教育の質向上を促している。また、外部の学識者を招聘し、教育改善・教育改革に関する全学FDを定期的開催している。

【教職課程】

- ・ 教職課程の全学的な検討組織として、「拡大教職課程検討委員会」を設置している。また、各学部「教職課程委員会（工学部・工学部第二部・未来科学部・システムデザイン工学部）」「理工学部教職課程協議会（理工学部）」を設置し、大学院を含め、「拡大教職課程検討委員会」の下、有機的な連携をもって教職課程の円滑な運営に取り組んでいる。
- ・ 学生・教員の双方が効率的に「教職履修カルテ」を管理できる電子ポートフォリオシステムを導入している。学生は、システム上において、教師として求められる具体的事項30項目における自身の学修の現状の確認と、今後の目標設定を行うことにより、学びのサイクルに沿った教職課程の学習を行うことができる。

【東京千住キャンパス】

- ・ 各教職課程担当教員は、学外の様々な研究会、協議会、コンソーシアムに積極的に参加し、最新の知見を共有するとともに、現職の公立校の先生方（管理職および中堅教員）の講演会を定期的開催し、学校現場の問題状況の把握に努めている。
- ・ 千住キャンパス近隣の足立区内の中学校・高等学校と連携して、教職課程の学生が学んだ知識・技能を確認できる機会場の場として各学校へ出向して「学習ボランティア」を実施している。令和2年度は、コロナ禍の影響により学生ボランティアの実施も困難な状況にあったが、後期に、高校において「学習ボランティア」（全3回）を実施した。
- ・ 正課授業とは別に、教職志望者を対象に教員採用試験の対策ゼミや模擬試験を実施し、教職志望者に対する就職支援を実施している。

【埼玉鳩山キャンパス】

- ・ 埼玉県の公設学習支援事業受託団体と協定を結び、学生ボランティアを派遣している（令和元年度登録学生数49名、学習支援派遣回数342回）。
- ・ 教職志望者を対象とした教員採用試験対策講座や模擬試験を年間20回程度実施している。
- ・ 教職課程担当教員は、学会・研究会・コンソーシアム等に積極的に参加し、最新の知見を共有している。
- ・ 模擬授業用の特別教室を設置し、教科書、参考書等の整備を進めている。